

全員協議会会議録（要旨）

日 時	令和4年3月16日(水) 午前11時53分～午前11時58分		
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場		
出席者	議 員	議 長 伊藤祐司 青山直道 大島令子 木村さゆり 田崎あきひさ 野村ひろし	副議長 山田かずひこ 石じまきよし 岡崎つよし ささせ順子 冨田えいじ 山田けんたろう
欠席者	議 員	加藤和男	
事務局		事務局長 水野敬久 議事係長 吉田菜穂子	議事課長 福岡弘恵

1 あいさつ 議長

2 議題

要望書の提出について

(議 長) 所管の総務くらし建設委員長より、執行部に対し「もえるごみ袋増額」の再検討を求める要望書を提出したいと提案があり、要望書の案が出されている。総務くらし建設委員長から要望書の説明をお願いします。

(議 員) 令和4年3月14日に総務くらし建設委員会を開き、もえるごみ袋増額について、3回目の所管事務調査を行った。委員からは多くの意見が出た。また、他の議員の方の一般質問からも様々な問題点が出たため、執行部へ要望書を提出してはどうかということが委員会で決定した。要望書の内容について説明する。

＜「もえるごみ袋増額」の再検討を求める要望書＞

長久手市は、令和3年8月に「もえるごみ袋の増額を予定しています！」のチラシを全戸配布した。「現在、ごみを減量するため、令和5年7月からもえるごみ袋の増額を考えている」という内容であったが、議会へは「決定した内容ではなく、地域で市民と行政が意見交換を行う場を準備し、市民と相談しながら決めていきたい」と説明があった。

令和3年10月から12月までに32回の地域意見交換会が行われ、194名の市

民に参加いただいたが、残す意見交換会は新型コロナウイルス感染症への配慮から中止となった。

令和4年1月24日、市民から「もえるごみ袋増額に反対する署名」1,883筆が市長に提出され、2月7日、市議会議長へも「ごみ袋値上げの中止に関する要望」が提出された。

また、地域意見交換会などで市民から寄せられた要望や意見、各議員の一般質問を通じ、もえるごみについて多くの課題が浮き彫りになった。ごみ処理は全市民の毎日の生活に関わる問題であり、多くの課題について行政と市民の合意形成が不可欠である。

このため、もえるごみ袋増額の前に、今回浮き彫りになった多くの課題解決について施策を講じる必要があることから、もえるごみ袋の増額について再検討を求める。

この要望書を議会の要望として執行部へ提出してもらいたい。

(議長) 議会からの要望書として執行部へ提出することとしてよいか。

<異議なし>

(議員) この要望書案は総務くらし建設委員会の要望となっているが議会として出すということか。

(議長) 長久手市議会として要望書を提出する。本日中に執行部へ提出したいと思う。

以上で全員協議会を終了する。